

平成 21 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名	U T ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 若山 陽一
コ ー ド 番 号	2 1 4 6
問 合 せ 先	執行役員社長室長 大籠 清
電 話 番 号	0 3 (5 4 4 7) 1 7 1 0

業績予想との差異および個別業績の前年実績差異に関するお知らせ

平成 21 年 2 月 13 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の通期業績予想と実績値との間に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、平成 21 年 3 月期通期個別業績と平成 20 年 3 月期通期個別業績との間に差異が生じた理由を併せてお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期通期連結業績予想数値との差異（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	40,700	1,500	200	△10,000
今 回 実 績 (B)	40,694	1,793	603	△10,861
増 減 額 (B - A)	△6	293	403	△861
増 減 率	△0.0%	19.5%	202.0%	8.6%
(ご参考)前期通期実績 (平成20年3月期)	51,787	4,200	3,473	1,203

2. 業績予想との差異理由

売上高につきましては、概ね平成 21 年 2 月 13 日に発表した予想数値通り推移いたしました。利益につきましては、販売費及び一般管理費の削減を計画より前倒しで実施したこと、およびアウトソーシング事業において顧客の生産調整による事業所の縮小等に伴う費用を販売費及び一般管理費から特別損失に計上したことを主因として、営業利益が計画値を 293 百万円上回る 1,793 百万円となりました。これに加え、為替相場が想定よりも円安水準で推移した結果、経常利益が 403 百万円上回る 603 百万円となり、前回発表した予想数値を上回り差異が生じました。

3. 個別業績の前年度実績との乖離について

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
20年3月期実績(A)	1,370	1,011	974	1,013
21年3月期実績(B)	251	△393	△973	△9,073
増 減 額 (B - A)	△1,119	△1,404	△1,947	△10,086
増 減 率	△81.6%	-	-	-

4. 個別業績との乖離理由

売上高につきましては、当期は子会社からの配当金収入がなかったことにより大幅に減少し、251百万円（前期比1,119百万円の減収）となりました。営業損益につきましては、売上高の減少に加え、グループ会社間での管理部門の集約により当社の人員数が増加したため、393百万円（前期比1,404百万円の減益）の営業損失となりました。経常損益につきましては、営業損失の計上に加え、M&Aに伴うコンサルティングフィーの発生を主因により、974百万円（前期比1,947百万円の減益）の経常損失となりました。当期純損益につきましては、上記の要因に加え、投資有価証券評価損4,370百万円、投資有価証券売却損4,142百万円を計上したことにより、9,073百万円（前期比10,086百万円の減益）の当期純損失となりました。

以 上